

同友会三つの目的

「よい会社、よい経営者、よい経営環境をめざす」

③同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

おきなわ同友会しんぶん ニライ みらい



2019年(平成31年) 3月号

No. 372

発行: 沖縄県中小企業家同友会 編集: 広報委員会

〒901-0152 沖縄県那覇市小樽1831番地1 沖縄産業支援センター603号 ☎098-859-6205(代) FAX.098-859-6208 http://www.okinawa.doyu.jp E-mail:doyu@okinawa.doyu.jp



良さを生かし、お互いの専門性を高める分業が大切!

(福)みやこ福祉会障害者就業・生活支援センターみやこ 所長 神里 裕丈 氏

宮古島にまだみやこ福祉会がなかった時代、父親は家業でガソリンスタンドの経営をしていました。知人の伊志嶺博理事長から「障害者の方のために仕事を手伝ってくれないか?」というお声かけで、腰原福祉作業所で働くことになりました。

自分が社会福祉法人として、二〇〇一年に「みやこ福祉会」を設立します。弟が知的障害者ということもあり、特別支援学校

の教師を目指し、福祉系の専門学校を経て、京都にある佛教大学の通信教育で特別支援学校の教師の資格取得も並行で努めていきました。しかし、勉強が苦手で資格取得することが出来ずに大学卒業のみとなりました。資格もなく、この仕事に就く意味を見出すことが出来ず、一年で辞めることになりました。

自分自身に力を付けるため、苦手なことや、出来ないことに挑戦してみようと、那覇で高額な教材販売の仕事に就きました。



みやこ学園の外観

21世紀に輝く No.179

抱きしめられて気付いた 使命としての仕事

宮古島にまだみやこ福祉会がなかった時代、父親は家業でガソリンスタンドの経営をしていました。知人の伊志嶺博理事長から「障害者の方のために仕事を手伝ってくれないか?」というお声かけで、腰原福祉作業所で働くことになりました。

宮古島にまだみやこ福祉会がなかった時代、父親は家業でガソリンスタンドの経営をしていました。知人の伊志嶺博理事長から「障害者の方のために仕事を手伝ってくれないか?」というお声かけで、腰原福祉作業所で働くことになりました。

現在、社会福祉法人みやこ福祉会の理事の一人でもあり、労働局や県からの委託事業である「障害者就業・生活支援センターみやこ」の所長として勤めています。

神里氏は、障害者と雇用者との関わりにおいて、「障害者に限らず、その人の持っている良さを生かし合いながら、お互いの質を伸ばし合うことが出来る分業が大切」と、ハローワークや求人広告等から雇用制度を活用しながら、障害者雇用の拡大が続くよう力を注いでいきたい、と強く話されました。

《会社概要》 (福)みやこ福祉会障害者就業・生活支援センターみやこ 所長 神里 裕丈 氏 (宮古支部) 所在地/宮古島市平良下里1202-8 1F TEL/0980-79-0451 事業内容/社会福祉事業(就労移行、継続A型、B型事業、指定障害者相談支援事業、グループホーム事業)

第33回 定時総会

- 日時 4月26日(金) 16:00~20:30
会場 ハーパービューホテル
内容 第I部「総会議事」(16:00~17:30) 第II部「記念講演」(17:45~19:00) 第III部「懇親会」(19:15~20:30)
テーマ 「人を生かす経営とは」で激変の時代を克ち進む~企業経営と同友会運動は不離一体~
講師 エイベックス(株) 会長 加藤明彦氏 (中間協副会長・愛知同友会)

経営者にとて、企業に起るべき課題は、経営者自身の成長にある。経営者自身が成長することで、企業も成長する。経営者自身が成長することで、企業も成長する。経営者自身が成長することで、企業も成長する。

2月県例会

社員主体経営が
経営の本質



鍾川喜久治氏

二月十五日、パシフィックホテルにおいて、二月県例会が九十九名の参加で開催されました。『人を生かす経営』の徹底実践、「社員主体経営」の神髄は公私混同しない経営姿勢をテーマに、ベルテクネ(株)・社長の鍾川喜久治氏(福岡同友会)の報告がありました。

鍾川氏は、大企業と中小企業の経営の違いについて語られ、中小企業の経営では社員の成長無くして会社の成長は無い。社員の成長の原動力を見極めて、各自に適した成長プログラムをつくることの重要性を話されました。社員のレベルに応じて、成長プログラムを手法として、ただ真似るだけでは失敗します。バブル崩壊後、多数の経営者の倒産を目の当たりにし、倒産企業の共通要因を見出します。その



熱心に聴く参加者

要因を分析する中で、手法に頼るのではなく、社員主体経営が経営の本質であり、経営の目的は、社員の幸せの追求と実現である。社員全員が人生

設計できる会社だと話されたことが印象に残りました。

「社員と共に成長する」ことの実践についてレジュメを用いた詳細な説明がありました。また、実践されている上司に対する評価表の提供もあり、参加者が明日からの

第6回新人フォローアップ研修会
成長と次年度への決意発表

二月二十五日、沖縄産業支援センターにて第六回新人フォローアップ研修会が全体で九十五名の参加で開催しました。

最終講の内容は「一年間の成長」をテーマに(株)赤マルソウ、(株)アメニティ、(株)okicom、税理士法人タックスサ

実践へのモチベーションが高まった内容でした。

その後、普天間例会委員長による、グループ討論研修があり、作成されたグループ討論ナビのお披露目とグループ討論が行われ、有意義な時間となりました。(オフィスJキャリア・平良純子)



皆勤した受講生の皆さん

したが、研修会全六講を通して学んだことや、自身・会社で実践していること、今後目指すことを報告いただきました。一人ひとりの学びや気づきが違い、様々な視点から学びを得た報告会となりました。

次年度も五月より新人フォローアップ研修会を開催しますので、ぜひご参加ください。(事務局)

第3回経営サポート学習会
M&Aの活用で
会社のビジョン語る

二月二十六日、沖縄産業支援センターにて第三回経営サポート学習会が十名の参加で開催されました。

(有)二ヘーデービル・社長の西平守利氏、(株)琉球銀行・調査役の大城玲氏に「M&Aを活用した成長戦略」を会員が語る事例、銀行マンが語る事例と注意点がテーマで報告していただきました。

大城氏は、沖縄は後継者不在率が二年連続全国ワースト一で、後に全五講を開催します。第一講は、経済指標と経済動向について、沖縄県は観光業を主力とする産業構造のため外需変動の影響を受けやすく、景気の先行き判断には本土や特にアジア地域の経済動向が重要であることや、米中貿易摩擦をはじめとする海外経済の影響についても解説されました。



成澤俊介氏

のキーワードとなる言葉があり、とても考えさせられ、「勉強で得るのは答えではなく問い」。まさにその通りだと感じました。(事務局)

社長・社員共育塾第7講
勉強で得るのは
答えではなく問い

二月十九日、沖縄産業支援センターにて社長・社員共育塾第七講が二十社七十九名の参加で開催されました。「理念経営の実践」をテーマに、NPO法人FIDAの成澤俊介理事長に講演いただきました。

成澤氏は就労困難者への支援活動や様々な企業のコサルティングなど行っていますが、ご自身も視力を徐々に失う病を患っており、当事者でありながら福祉の専門家・経営者です。講演の中でこれまでコンサルをされた企業の事例や成澤氏自身の生い立ちを話し

同友会大学
第11期「大学院」がスタート

二月二十三日、沖縄産業支援センターにて同友会大学第十一期「大学院」が二十四名の参加でスタートしました。

今期は、日本銀行那覇支店・支店長の桑原康二氏を講師に迎え、「金融経済の視座から読み解く世界・日本・沖縄」をテーマ

最終講は三月二十三日、キャッシュレス化の浸透可能性やフィンテックについて。単発受講も可能です。(かりゆし法律事務所・望月弘子)

働き方改革
有給休暇を取りましょう

間近に迫った「働き方改革法案」の四月一日施行日。

質問が多いのが「年次有給休暇の時期指定義務」についてです。全ての企業が対象ですので、そのポイントを説明しま

す。①年十日以上の年次有給休暇が付与される労働者に対して

②基準日から一年以内の年五日について、使用者が時季を指定して有給休暇を付与すること。です。

フランス、ドイツは有給取得率一〇〇%ですが、日本は四九・四%、平均取得日数十日と世界十九か国で最下位です。

元々有給休暇は、労働者が請求した時期に与えることになっていないため、請求しない人も多くいるように、正社員の

十六%が一日も取得していない。また有給を取得しない人は長時間労働比率が高いという調査結果が出ています。そのため、今年の四月から、有給休暇を使用者が時季を指定して取得させることが義務付けられました。

「本人が休みたくない」と言っている」という理由で有給が年間五日未満になると三十万円以下の罰金が適用されます。

四月に向けての準備として



準備として

(プロフィール)
社会保険労務士
日本産業カウンセラー
大学非常勤講師
市町村行政改革推進委員など
青山喜佐子
社会保険労務士法人
オフィスあるふあ所長
TEL 098-870-6686



青山喜佐子
社会保険労務士法人
オフィスあるふあ所長

て、就業規則に記載することや、必要であれば労働者ごとに「年次有給休暇管理簿」を作成し三年間保存しなければなりません。注意としては、①管理者も該当します。②半日、一日単位での取得すること(時間単位有給は該当しません) この機会に、職場点検を行ってみましょう。

沖繩銀行との包括連携協定記念イベント 譲渡会社に配慮した対応を

沖繩銀行との包括連携協定を記念して事業承継事例セミナーが沖繩銀行本店で行われました。

喜納朝勝代表理事の挨拶から始まり、税理士法人エヌズ・代表社員野原雅彦税理士による事業承継、M&Aの事例紹介でした。沖繩県内の中小企業は八四・三%が後継者不足であること、復帰後四十五年経過し創業者が高齢化していること、事業規模が小さく後継者



野原雅彦氏

候補が社内外で不足していること、事業承継に当たっての資金調達に問題があるなど、いろいろな課題の中で野原雅彦氏自身自身が実際にサポートした事業承継、M&Aの成功事例・失敗事例について、普段聞くことのできない生々しいお話を聞き取りました。(イカリ消毒沖繩(株)・仲本明)

第47期経営指針作成講座修了式

修了生より「指針」を報告

二月十八日、沖繩産業支援センターにて第四十七期経営指針作成講座報告会&修了式が二十四名の参加で開催されました。第四十七期受講生十四名の内、十二名が講座で学んだことを経営理念・方針・十年ビジョンシートを使ってまとめ、一人ひとりが報告。講義で受講生をサポートしたサポーターから質問や気づきなどの投げかけもあり、学びが得られる報告会でした。その後、比嘉良太経営

くことができず、事業承継対策のポイントとして、後継者の育成は時間がかかるため元気づけ、M&Aを円滑に進めるために会社の財務を磨きあげ譲渡会社に配慮した対応を行うことなどいろいろありますが、最終的には人と人との信頼関係が成功するか失敗するか大きく関わるといいます。(イカリ消毒沖繩(株)・仲本明)

委員長より修了証の授与を行い、集合写真を撮りました。(事務局)

南部支部 働き方改革学習会 働き方改革関連法が改正

二月二十日、ちむぐく館にて、南部支部経営学習会を十名の参加で開催しました。

「働き方改革と法改正へ向けての準備」をテーマに、社会保険労務士法人オフィスあるふあ・所長の青山喜佐子氏に講演していただきました。四月一日(中小企業は二〇二〇年四月一日)より働き方改革関連法が改正され、時間外労働の上限規制が導入、年次有給休暇の確保も取得では罰則として一人につき三十万円の罰金が科せられます。また、「フレックスタイム制」の拡充や勤務時間インターバル制

て第四十七期は幕を閉じました。(事務局)

度、正規雇用と非正規雇用の不合理な待遇差を禁止など様々な法整備が変わります。

参加者からも三六協定や有給休暇の扱い方など自社の課題についてアドバイスをいただき、最後にブレインストーミングを体験して意見を出し合い、さらなる成長につながる機会になりました。(有)たけ事務・竹富久)

宮古支部 じゃがいも掘り&カレー交流会 収穫したじゃがいもの味は格別

二月二十三日、宮古支部農業研究会の主催による、じゃがいも掘り&カレー交流会が開催されました。参加者は大人、子供合わせて二十一名。絶好のじゃがいも掘り日和となりました。

普段の生活ではなかなか体験できない、土に触れながらの収穫体験とあって子供も大人も大興奮。大きい芋を掘り当てる、ダッシュで計量に向かう子供達。「私ってじゃがいも掘りの天才かも」とつぶやきながら夢中に収穫する女性会員の姿が印象的でした。

収穫したじゃがいもはその場で調理し、ポテトチップスとカレーに、やはり自ら収穫したじゃがいもの味は格別。美味しい匂いに誘われてきた近所のおばあちゃんにもカレーを振る舞うなど、終

沖縄県の外国人観光客数と外国人労働者数



- ① 沖縄県ではこの10年、外国人労働者数が右肩上がり増加
- ② 訪日客の増加とともに、通訳や外国語が話せるホテルスタッフの需要が増えている
- ③ リーマン・ショック翌年となる09年と17年の外国人労働者数をみると、都道府県で外国人依存度が最も高まったのは沖縄県

オフィス星崎
代表 星崎浩二氏
098-1911-1753

「夢」の実現をめざして

二〇一七年十月にそれぞれに個人事務所を構えていた三人が、「社会が複雑化・顧客からの要望が細くなることに対応

したい」との考えからお互いの得意分野を活かし、細かなサービスにも対応するために、とよみ税理士法人を立ち上げました。



第280回

とよみ税理士法人
社員税理士 上原 登貴子 氏



左から上原氏、平良氏、玉城氏

職員の事をお尋ねすると代表者以外には全員女性でパートを含めて全員で十一名とのこと。子育て世代の女性も多く、女性にとって働きやすい環境を目指しているとのこと。職員は新人の方が多くこれから育てていく楽しみもあるようです。業務は顧問先の定期的訪問やコンサルタント等も行っており、職員の会計事務所イコール事務処理というイメージからくる業務内容のギャップを補う社員教育が今後の課題だと話されていました。

は昨年八月に上原さん、玉城さんで受講されそれぞれが目指す方向を擦り合わせる話し合いを定期的に行っているそうです。事務所の特徴としては株式会社等の企業会計などとは別に社会福祉法人や公益法人、組合会計等の監査や会計指導をするところだと話されています。もちろん申告の時期だけに来るお客様がいたり、地域密着型サービスにも業務が広がっているようです。

今後のことについてもお話を伺いました。従業員に対しては、この事務

とよみ税理士法人

社員税理士 上原 登貴子 氏
(南部支部)
所在地/豊見城市上田546-12 良ハウス101
TEL/098-856-1652
事業内容/税理士業

文進印刷株式会社

本社/〒901-0416 沖縄県島尻郡八重瀬町字宜次706-4
TEL (098) 996-3356 (代) FAX (098) 996-3357

- 那覇営業所/〒902-0074 沖縄県那覇市仲井真201番地18
TEL (098) 855-2323 (代) FAX (098) 996-3357
- 浦添営業所/〒901-2111 沖縄県浦添市経塚811-14
TEL (098) 879-9303 (代) FAX (098) 996-3357
- 宜野湾営業所/〒901-2214 沖縄県宜野湾市我如古3-11-5 1F
TEL (098) 898-1055 (代) FAX (098) 996-3357
- 沖繩営業所/〒904-2165 沖縄県沖繩市宮里2丁目1番3号
TEL (098) 937-8607 (代) FAX (098) 996-3357
- 糸満営業所/〒901-0303 沖縄県糸満市字兼城473-10 グレイスコート102
TEL (098) 994-5777 (代) FAX (098) 996-3357
- うるま営業所/〒904-2215 沖縄県うるま市具志川みどり町3-19-5
TEL (098) 973-5676 (代) FAX (098) 996-3357



平成19年2月6日、個人情報保護のための仕組みである、JISQ15001:2006(プライバシーマーク認定番号24000306(04))を取得いたしました。

<南部支部会員>

始笑顔溢れる楽しい会となりました。農業研究会は今後も年に一〜二回、農業の魅力

を体感できるイベントを企画したいとのこと。次回イベントへの期待が膨らみます。(事務局)

那覇支部

経営基礎講座第2講

SNSの広報戦略学

二月十二日、那覇支部経営基礎講座第二講が合同会社高良広告・代表の高良圭一氏による「超ターゲットインング! SNSの広報戦略」費用対効果を考える」を二十三名の参加で行われました。広告種類、それぞれの性質、費用の違いについて



高良氏の話をする参加者

て学んでいきました。マスメディアに積極的メディア。ターゲットは特定できない。(テレビ、ラジオ、新聞、看板、屋外ビジョン、ポスターチラシ) パーソナルメディアに消極的メディア。ターゲットを特定できる。(ブログ、SNS、WEB、動画) SNS広告5つのメリットを考えます。1. オーガ

ニックより上に表示される。2. キーワードごとにコントロールできる。3. 掲載順位をある程度コントロールできる。4. やめたい時にやめられる。5. 低予算で始められる。そして、広告家にとって夢のような仕組みが用意されている。例) 広告が見られた数、地域、性別、年齢、曜日、時間帯、デバイス等。SNS広告は一度経験してみることがオススメです(株)ゴールドオフィス・當銘将也

碧の会&八重山支部合同例会 培ったノウハウを参加者にPR

数年に一度、八重山に元気がやってくる! 体感

温度が二、三度上がるような例会が、「碧の会」

最適な防犯プランを提案します

今や防犯カメラやシステムによるセキュリティ対策は、企業や店舗の大小に関わらず必要な時代。防犯対策や、安全対策としてはもちろん、リスク管理として導入されるケースも多くなっています。今回ご紹介する、みるシステム・代表

の喜屋武氏は、防犯グッズやシステムを扱うサービスを提供しています。元々は、広告制作の仕事をしており、十一年前に起業。現在でも広告制作事業もしていますが、二年前より新事業として防犯グッズ&システムを提案する事業「みるシステム」

と、頼もしい言葉が。メーカーも多数取扱があるの、クライアントの悩みを聞いた上で、オーダーメイドのご提案することが一番喜ばれ、お役にも立てるといふ事



喜屋武吉実氏

「みるシステム」の強みを伺ったところ、「ご依頼内容に合わせて最適な防犯プランを提案することが可能」と、頼もしい言葉が。メーカーも多数取扱があるの、クライアントの悩みを聞いた上で、オーダーメイドのご提案することが一番喜ばれ、お役にも立てるといふ事

みるシステム (那覇支部) 代表 喜屋武吉実氏 所在地/豊見城市真玉橋129-2-203 TEL/090-9484-1246 事業内容/防犯グッズ

ゆいまゝる観光委員会視察 県内宿泊施設初、液化天然ガス活用

二月十三日、「ゆいまゝる」では、島全体がリゾートとして楽しめるハイアットリージェンシー瀬良垣アイランドを十四名の参加で視察しました。全三四四室。レストランエリアには炉端、日本料理、鉄板焼、すしカウンター、バーカウンターがあります。廊下には部分的に土壁を用い、独創的な造形に照明が重なり、まるで美術館にいるようです。

県内宿泊施設としては初めての液化天然ガスを活用し、施設内の給湯ボイラーのほか、停電時の非常電源として三日間供給できる上、CO2を大幅に削減します。案内していただいた石本氏からは「昨年のオープンからちょうど一カ月目の台風で、長期停電に見舞われた際も、お客様には不自由なくお過ごしいただきました」と。ただし、プール



説明を聞く参加者

の全面協力のもと、二月七日、ホテルミヤヒラで四十名の参加で開催されました。

二人の報告者のうち先陣を切ったのは、ネットリンク(株)・社長の登野城忠男氏。時代に先駆けてリアルファイリエイトを開発し一八〇〇店舗が加入、その後「街コン」など様々な事業にチャレンジします。「誰もやったことがないことをやってみたい」という登野城氏。まだ取り組んでいる所の少ないGoogle Mapを例に数々の集客術を紹介しました。

読者の声 (有)PLAN t PLAN 宮良高彰) 同友会では沢山の会員の方から、事あるごとにご指導を受け感謝しています。その方々が「ニライみらい」の中で日頃ご活躍されている姿に新たに感銘を受けております。

続いて、社名は「愛」という意味が入っています、という切り口から始まった(株)カリタス・社長の根橋理香氏の報告は、求める人材の年齢層に応じた効果的な募集方法の紹介でした。ホームページを変えた途端に問合せが増えるなど、これまで培ったノウハウに、集客や求人はお二人に依頼したいという声グループ討論では相次ぎました。

私自身、共同求人・社員教育に今年から参加し、社員と共に成長(共育)することで、良い会社をつくり地域に貢献していきたいと思う次第です。また、各支部の活動も「ニライみらい」を通して知ることができ、他の支部にも参加してみたいと思えました。 今後同友会の仲間の刺激になるような紙面を楽しみにしています。(有)ファイチャー企画・伊波亜矢子)

新たなロゴ、 そのころ。

Be a Great Small. 中小機構

2019年1月、ロゴを一新しました。 独立行政法人中小企業基盤整備機構

